



母子手帳と便カラーカード

◆胆道閉鎖症の早期発見を

問 生後4か月までは便の観察が大切だ。対応は。(山口)

答 4月から配布する母子手帳に便の色を表示し比較できるように「便カラーカード」が添付される。

◆出産環境整備

問 第三子以降に祝い金支給をしてはどうか。(西條)

答 祝い金の支給はしない。

子どもたちの健やかな成長を願って

◆子ども子育て新システム

問 どの様な制度か。(中村)
答 税と社会保障の一体改革の一つで、幼保一体化、地域型保育、母子保健、放課後対策、妊婦検診など幅広い支援

事業を一体となつて実施する。
問 理念は分かるが、具体像が見えない。政府主催のタウンミーティングを要請したらどうか。(中村)

答 検討したい。

◆子ども医療費無料化

問 中学生まで拡大し評価する。内容はどうか。(中村)

答 入院とも、対象とし、所得制限も設けない。

◆医療費無料の拡大について

問 12月定例会ではまだ決まっていなかった中学3年生まで無料化を拡大することについては、いつどのように決定されたのか。(柴田)

答 実施計画では26年度から始めたいとしたが、24年度予算編成にあたり前倒しして24年4月から所得制限なく入院通院とも拡大することにした。予算の中学生拡大分は9か月分で1千650万円見込んでいる。



◆子どもの生活習慣病予防

問 中学2年の血液検査でヘモグロビンA1cと尿酸値を追加しないか。(宮田)

答 研究し、生徒の健康づくりに取り組む。

◆重度障害者の施設について

問 日中活動場所と居住空間を市内に整備して。(宮田)

答 基盤整備などを推進する。

◆介護保険料改定

問 大幅な保険料改定だが、引き上げ幅抑制等の対応状況は。(鈴木)

答 支払い準備基金全額と県財政安定化基金の取り崩しで上げ幅を17円減額、基準額5千100円としたが、所得状況に応じた負担となるよう、低所得者の負担率を引き上げ、高所得者の負担率を引き下げ、負担区分を12段階に増やした。

学校給食のさらなる充実を

◆給食費の公会計化について

問 公会計化の実施について、収納方法などについての考えはどうか。また、必要な予算はどのくらいか。(柴田)

答 継続される見込みの子ども手当てからの天引きと毎月の保護者口座からの徴収に対応できるように考えている。システム構築費は70万円余を5年リースで対応する。

◆学校給食は公会計で

問 給食費未納問題は主要テーマである。公会計開始の時期と引き落とし方法は。(山口)

答 事務手続きが済み25年度からスタートしたい。保護者



小学校給食